

中央放射線部

～ 膝関節症 ～

関節裂隙の狭小化
(骨と骨の間隙)

骨硬化
(骨が硬くなる)

骨棘 (棘状の骨)
骨のう胞 (骨の空洞)

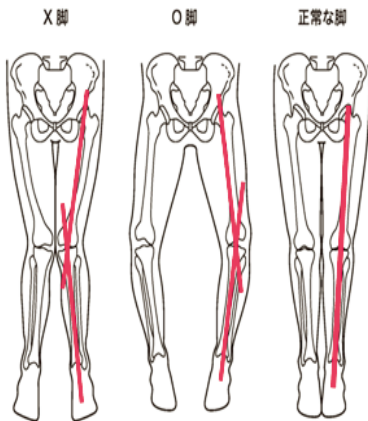


- ・レントゲン撮影では、骨に突出や欠損などの異変がないか確認します。
- ・変形性膝関節症の膝関節は、軟骨がすり減り、骨と骨の間隙がなくなってきます。それに伴い、関節の骨が硬くなったり、尖った骨の棘ができることがあります。

～下肢長尺撮影～

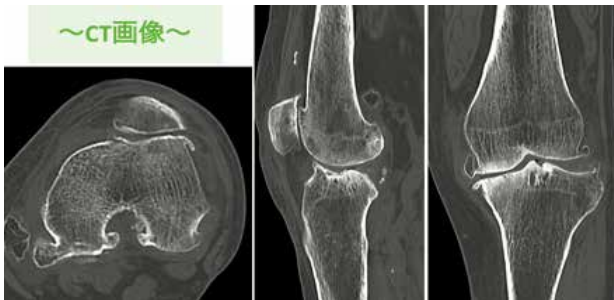


X脚 O脚



- ・下肢長尺撮影では、脚全体の撮影を行い、O脚やX脚のような変形がないか確認します。
- ・正常な脚は、股関節・膝関節・足関節を結んだ線がほぼ一直線になります。変形など異常があると、この骨の直線が歪んで見えます。
- ・この撮影では、足に体重がかかるように立った状態で撮影し脚の軸のズレを計測します。

～CT画像～

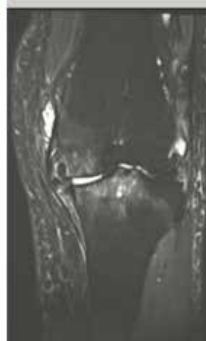


- ・CT検査では、骨だけでなく、周りの軟部組織の観察もでき、1回の撮影で色々な方向から見た画像を作ることができます。
- ・レントゲン撮影とは違い立体的な画像(3D画像)を作ることができ、手術の計画に必要な撮影が行われます。

～CT 3D画像～



～MRI画像～



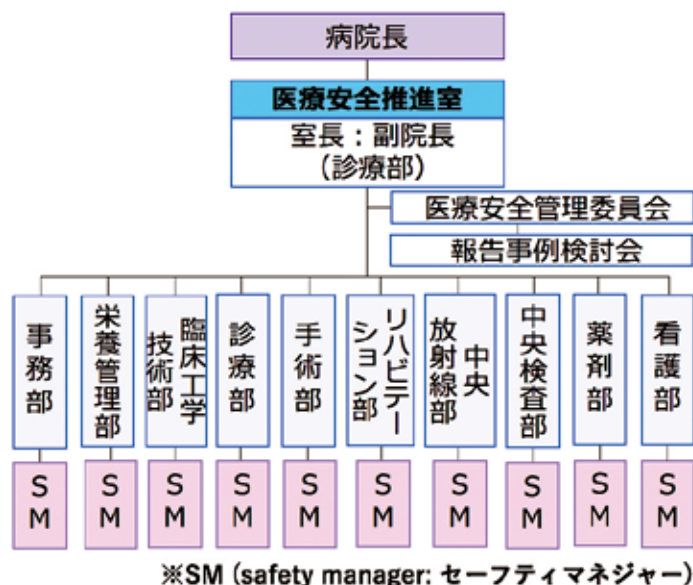
- ・MRIでは、磁場を用いて撮像を行います。
- ・レントゲン撮影だけでは隠れた痛みの原因がわからない場合があります。そのため、MRI検査を行い軟骨のすり減りの評価や半月板、靭帯など関節内の主な構造物の傷み具合を調べます。骨に関しても炎症や壊死といった内部の状態までわかります。

医療安全推進室

医療安全推進室のご紹介

医療安全推進室は、医療安全管理委員会と連携し、当センターの医療安全に係る状況を把握し、その分析に基づいて医療安全推進のための業務改善等を継続的に実施しています。

奈良県西和医療センターの 医療安全管理体制



医療安全推進室メンバー

医療安全推進室室長(診療部副院長)
 医療安全推進室副室長(看護副部長)
 中央臨床検査部副技師長
 中央放射線部副技師長
 薬剤部次長
 臨床工学部係長
 医事課主任主事

医療安全推進室の業務

- ① 医療事故、ヒヤリハット事例の情報収集・分析に基づき予防策の提案、医療安全確保のための業務改善・マニュアル遵守状況の評価・指導を行う
- ② 医療安全に係る教育研修の企画・運営
- ③ 医療安全に関する最新情報の把握と職員への周知
- ④ 医療安全に関して職員への啓発・広報
- ⑤ 医療安全管理に関する連絡調整

主 な 取 り 組 み

医療安全ラウンド

「患者確認」「患者さんにやさしい案内・掲示」など、医療安全対策の遵守等問題があると思われる事項について、各部署へのラウンドを行い遵守率向上を推進しています。



報告事例の分析と改善

毎月第2週目の火曜日に、前月の医療事故等の報告事例の内、患者さん等への影響度の高い事例を取り上げて要因分析と対策検討を行っています。



報告事例検討会議のメンバー

SMCC(seiwa mortality case conference : 西和死亡症例検討会)

よりよい医療を提供するために、毎週月曜日、亡くなられた患者さんの診療経過を振り返り、診療上の改善点等の検討会を開催しています。



臨床工学技術部



体成分分析装置 InBody

2021年3月に体成分分析装置InBody s10を導入しました。
 透析患者さんの目標体重を決める手段として胸部レントゲン、採血などがあります。それに加え、InBodyを使用することで、より適正な目標体重の設定が可能となります。また、筋肉量や栄養状態の評価もすることができ、その検査結果により患者さんに運動をすすめたり、栄養状態の改善をすすめたりしています。
 しっかり食べて元気に透析を受けて頂けるようサポートしています。



体成分分析装置で分かること

検査結果

① 体成分分析

体の4大構成成分

- ①水分量
 - ②タンパク質
 - ③ミネラル量
 - ④体脂肪量
- の量や状態がわかります。



体成分分析 Body Composition Analysis

項目	単位	測定値	標準範囲
細胞内水分量	L	21.6	20.9~25.5
細胞外水分量	L	12.7	12.8~15.6
タンパク質+ミネラル量	kg	12.2	12.1~14.8
体脂肪量	kg	5.5	7.2~14.4

② 筋肉・脂肪量

体の筋肉量と脂肪量が測定でき、体重に対して適切かどうかわかります。



筋肉・脂肪 Soft Lean-Fat Analysis

項目	単位	測定値	標準範囲
体重	kg	52.0	50.9~68.9
筋肉量	kg	44.1	43.3~52.9
体脂肪量	kg	5.5	7.2~14.4

③ 体水分均衡

正常の場合、体は一定の水分均衡を維持しており、老化や低栄養により体細胞量の減少、または疾患や怪我などによる体液の増加によって体内の水分量のバランスが崩れることがあります。体水分均衡を測定することで体の浮腫（むくみ）がわかります。



部位別水分量 Segmental Water Analysis

測定部位	単位	測定値	標準範囲
右腕	L	1.85	1.90~2.56
左腕	L	1.87	1.90~2.56
体幹	L	16.0	16.0~19.6
右脚	L	6.21	5.59~6.83
左脚	L	5.99	5.59~6.83

当センターは、「患者さんを家族のように愛する。いい医療をより多くの患者さんへ」という理念を基に透析室では医師・看護師・臨床工学技士など多職種が連携して、質の高い医療の提供を目指しています。

薬 剤 部



変形性膝関節症のおくすり

変形性膝関節症で用いられるお薬は、病気そのものを治すためのものではありません。
対症療法として現在の症状を和らげるために使用します。

内用薬：炎症を抑える効果のある非ステロイド系の消炎鎮痛剤 (NSAID) が使われます。
お薬は医師の指示に従って正しく飲むようにしましょう。自己判断で飲む量を増やしたり勝手にやめたりせず主治医と相談することが大切です。

代表的な薬剤 ロキソプロフェンナトリウム(ロキソニン)、ジクロフェナクナトリウム(ボルタレン)
メロキシカム(モービック)、セレコキシブ(セレコックス)、等

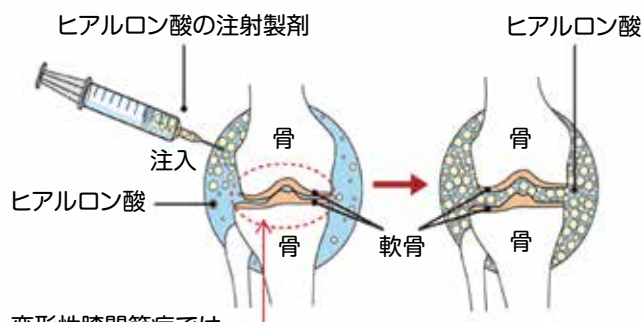
外用薬：「塗り薬」や「貼り薬」(テープ剤、パップ剤)があります。
皮膚から薬の成分が吸収されて膝関節に作用します。テープ剤は粘着力が強いので1日1回貼るだけで良く、関節などのよく動かす部分に適しています。パップ剤はテープより粘着力が弱いため、皮膚のかぶれやすい人に適しています。

代表的な薬剤 インドメタシン (インテバン)、ケトプロフェン (モーラス)
ジクロフェナクナトリウム (ボルタレン)、フェルビナク (ナパゲルン)、等

注射薬：「局所注射」と「関節内注射」があります。
局所注射は、膝関節周囲の腱や靭帯など、痛みのある場所に麻酔剤やステロイド剤などを注入し、痛みや炎症を抑えます。関節内注射は、膝関節内にヒアルロン酸製剤やステロイド剤などを注入し、痛みや炎症を抑えます。

代表的な薬剤 精製ヒアルロン酸ナトリウム(スベニール、アルツ)、
デキサメタゾン(デカドロン)、トリアムシノロンアセトニド(ケナコルト-A)、等

変形性膝関節症におけるヒアルロン酸注射による治療イメージ(イメージ図)



変形性膝関節症では、
骨と軟骨とがこすれ合うようになるため
炎症が起こり、膝に痛みが生じます。

(中外製薬 よくわかる ほねとひざ .com 引用)

栄養管理部

.....夏バテ予防レシピ.....

夏バテを防ぐには、疲労回復効果のあるクエン酸やビタミンB1のほか、基礎代謝を上げて体力UPできるタンパク質をしっかりと摂取することが大切です。

このほか、ビタミンCを含む野菜や果物、エネルギーの元となる炭水化物もしっかり摂りましょう。栄養バランスが整った食生活を送ることで、夏バテしない身体をつくることができます。

夏バテ予防に効果的な5大栄養素とおすすめの食べ物

クエン酸 (疲労回復)	酢・梅干し
ビタミンB1 (疲労防止)	まぐろ・うなぎ・豚肉・たまご
タンパク質 (基礎代謝UP)	豚肉・カツオ・枝豆
アリシン (ビタミンB1の吸収率UP)	にんにく・ネギ・ニラ
ムチン (消化促進)	納豆・オクラ・長いも

長いもの豚肉巻き

材料(2人分)

- ・豚薄切り肉 ……………8枚
- ・塩・胡椒 ……………少々
- ・長いも ……………80g
- ・青じそ ……………8枚
- ・小麦粉 ……………大さじ1
- ・サラダ油 ……………適量
- ☆調味料
- ・醤油 ……………大さじ1
- ・みりん ……………大さじ1

小分けにして、冷凍保存しておくと、お弁当のおかずにも便利です。

作り方

- ①長いもは0.5cm角の棒状に切る。
- ②豚肉は1枚ずつ広げ、塩胡椒を振り、青じそと長いも2～3本をのせて巻く。
- ③巻いた豚肉に小麦粉をまぶす。
- ④フライパンにサラダ油を中火で熱し、③の巻き終わりを下にして焼く。
- ⑤焦げ目がついたら、☆を加えて、からめれば完成。



ファミリー特集 病院で働こう!!

第6回 メディカルセクレタリー (医師事務作業補助)

病院の職種は
こんなのも
あります

主に外来の進行をスムーズにするために、医師の事務作業を補助する仕事です。

皆様が外来で診察を受けられる際、医師の隣でパソコンに向かって予約を取るなどの作業をしている白衣を着た職員が、メディカルセクレタリーです。

外来に必要な書類を取り寄せたり、日々の手術や処置の件数を報告し、患者さんの手術や処置のスケジュールを提案したり、医師が必要とする情報を事前に用意したりします。それは事前に用意できるものもあれば、外来でとっさに求められるものもあります。

また、皆さんが受付で申し込みされる診断書や証明書の代行作成も行います。最終的には医師が確認するのですが、過去カルテを取り寄せるなど作成に必要な情報収集と、文面の構成などはセクレタリーが行っています。

●メディカルセクレタリーとは

2008年の診療報酬改訂により、医師の負担軽減や役割分担を進める目的から、医師の指示の下に、医療文書作成代行などの事務的作業を行う要員として『医師事務作業補助者』という職種が新たに誕生しました。



当院では入職してから、医療事務系会社の医師事務作業補助者研修を履修します。実務については主にOJT（現地指導）で先輩に3ヶ月程度着いていき業務を覚えます。また病院で定期的に行われるAEDの使い方の研修や医療安全研修、感染管理研修等、医療従事者として医師や看護師と同じ研修も履修します。

メディカルセクレタリー経験者です。

以前に勤めていた病院では、医師=怖いという印象が強かったのですが、西和医療センターでは医師、看護師ともに優しく、患者さんからの信頼が厚い理由がとても実感できました。



メディカルセクレタリー歴 6年目

以前よりメディカルセクレタリーに興味があり、前職での医療事務の経験も活かせると思い志望しました。一番大変に感じたことは、医師が何をするかをある程度予測し、対応することでした。

そのためには、大まかな診療の流れを知っておく必要があるのですが、先輩方が丁寧に指導してくださったので、乗り越えることが出来ました。

これからもスムーズな診療をサポート出来るよう、取り組んでいきたいと思っています。

セクレタリー歴 3年目

メディカルセクレタリーの仕事の大きなやりがいは、「人の役に立てること」だと思います。医師だけでなく看護師、検査技師、事務スタッフと連携を取り、医療の質を向上させることができる仕事はとてもやりがいを感じられます。新型コロナウイルスにより発熱クリニック、陽性患者入院治療など医師の負担はこれまで以上に大きくなっています。私たちの頑張りが医師の負担軽減に繋がると信じています。

メディカルセクレタリー内科、外科、小児科 チーム一同